

“事業報告特集”

目次

□巻頭言 喉元過ぐれば熱さを忘れる	清水四郎	1
追悼の辞	島津武	3
内田豊氏を偲ぶ	三宅淳達	5
□社団法人日本建設機械化協会の事業活動		
社団法人日本建設機械化協会定款		/ 7
各部会・専門部会・建設機械化研究所の動き		/ 9
□部会研究報告		
車両系建設機械のヘッドガードの構造の規準改訂		
安全対策専門部会・ヘッドガード委員会		/ 21
□新刊図書紹介		
地下連続壁工法設計・施工ハンドブック		/ 22
建設機械用油圧機器ハンドブック		/ 23
□随想 雑感 三題	藤野慎吾	25
□昭和50年度官公庁の事業概要(その1)		
建設省の事業概要	谷沢義広	/ 28
国土庁の事業概要	梅津昭三	/ 35
日本道路公団の事業概要	石川昭雄	/ 41
首都高速道路公団の事業概要	川上深	/ 47
阪神高速道路公団の事業概要	北村正也	/ 52
本州四国連絡橋公団の事業概要	尾仲章	/ 57
水資源開発公団の事業概要	伊集院敏	/ 59
日本住宅公団宅地開発事業の概要	吉宗一哉	/ 64
下水道事業センターの事業概要	遠山啓	/ 67
地域振興整備公団の事業概要	富田耕太郎	/ 71
J.C.M.A. 海外建設機械化視察団報告		
CONEXPO '75 を見て		/ 75

グラビヤ——CONEXPO '75 を見る

□文献調査		
低騒音振動インパクトハンマ	広報部会・文献調査委員会	/ 81
パイプ沈設工事	広報部会・文献調査委員会	/ 82
□統計		
建設工事受注額・建設機械受注額		
および建設機械卸売価格の推移	調査部会	/ 83
ニュース	(編集部)	/ 84
行事一覧		/ 84
編集後記	(奥出・中尾)	/ 86

◀表紙写真説明▶

JH 80 B ベイローダ

小松インターナショナル  
製造株式会社  
株式会社 小松製作所

近年ダンプトラックの大型化に伴い、11～18tクラスのダンプトラックと組合せ可能な4輪駆動式ショベルローダの要求が多くなって来ており、この要求にあった機械としてバケット容量3.1m<sup>3</sup>の“JH 80 B ベイローダ”が開発された。本機の主な特徴は、操作力のすぐれたパワーステアリング、ソフトミッション、タイヤスリップを防止するトルクプロポーションングデフ、安全対策のための2系統式ディスクブレーキなど、居住性、公害対策等を配慮した点である。